

9月1日は防災の日

みんなで減災 ひるがる安心

頼りになります!  
自治町会

いつ起こるか分からない大地震。その時、避難や救助などご近所同士の助け合いが重要な力になります。日頃から防災訓練など地域ぐるみで実施している自治町会は、皆さんの一番身近で心強い存在です。防災の日をきっかけに、自治町会への加入を考えてみませんか。

◀災害時に真っ先に駆け付けられるのはご近所さん。「自分たちのまちは自分たちで守る」という信念で、毎月の訓練は欠かせません。地域のつながりを大切に、みんなで力を合わせて減災に取り組んでいます!



新小岩第二町会の市民消火隊の皆さん

減災に向けて

減災とは、災害時の被害を最小限にするための取り組みのことです。区は、区民の皆さんと協働して減災に取り組めます。

【担当課】 防災課 ☎5654-8224

葛飾区の現状

地形

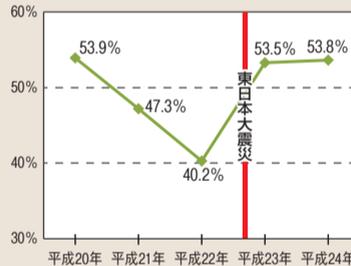
葛飾区は、地盤が軟弱な低地である上に、木造住宅の密集した地域があります。また、江戸川・荒川・中川などの河川に囲まれている、災害に脆弱な地域です。

首都直下地震による葛飾区の被害想定  
(平成24年4月東京都発表)

- ▷23区の約7割が 液状化や電気・ガス・水道などのライフラインへの被害など、区内では甚大な被害があると想定されています。
- ▷震度6強
- ▷死者 500人
- ▷負傷者 5,515人
- ▷建物全壊 7,446棟
- ▷焼失 11,114棟

「防災」は区民の皆さんが重要だと思う施策の一つ

区が実施した「政策・施策マーケティング調査」では半数以上の方が、区の施策の中で重要だと思う施策に、「防災・生活安全」を挙げています。特に、東日本大震災後、防災意識が高まっています。



総合防災訓練

区では、災害時の初動体制の強化と警察・消防など関係機関との連携を図るため、毎年秋に総合防災訓練を実施しています。

25年度は10月6日(日)に葛飾にいじゅくみらい公園(新宿 6-3-2・20)で行います。

災害時の身近な情報は  
かつしかFM  
(78.9MHz)で

災害時、区からの情報は、防災行政無線やかつしかFMなどでお知らせします。災害時に慌てることのないよう、日頃からかつしかFMをお聞きください。

水害対策の強化

広域的な避難を想定し、近隣自治体との協力体制をつくとともに、一時避難施設を確保するため、中高層建物へ避難できる仕組みをつくりまします。(防災課)

密集市街地の整備

四つ木一・二丁目、東四つ木三・四丁目、東立石四丁目地区において、狭い道を広げ、公園や広場などを整備しています。(密集地域整備担当課)

細街路  
拡幅整備事業

災害時に問題となる狭い道路を、建物の建築時などに道路中心を明確にし、拡幅整備を行います。(住環境整備課)

学校避難所の  
機能強化

避難所となる区立小・中学校にマンホールトイレを整備します。また、外壁・天井などの安全点検や補強工事を行います。(防災課・施設課)

他自治体との  
災害時相互応援協定

遠方の自治体だけでなく、近隣の自治体とも協定を締結することで、災害時の協力体制を強化しています(右図)。(防災課)

民間建築物耐震診断・  
改修費補助

木造建築物などの耐震診断・改修工事費を補助し、耐震化を促進します。(建築課)

防災活動拠点  
の整備

防災活動拠点は、平常時は公園として利用し、災害時には消火・救助活動や被災者の生活支援を行うための場所となります。25年度には29カ所目の防災活動拠点を亀有公園に整備します。(防災課)

協定自治体

